

4 令和5年度 学校評価アンケート結果についての関係分掌による分析

分野	No.	質問項目	結果と分析等
学習指導	1	学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒全体肯定評価は89.6%と昨年度(89.9%)とほぼ同数の数値であった。全体の約9割と高い数値を示していることは、教員側が生徒の学力状況を的確に把握し、主体的で対話的な深い学びを積極的に導入し、個別最適で協働的な学びを適切に実践できている結果であると考え。 ・教職員の評価は、昨年度より上回り、各自が授業研鑽に努めている成果を実感できていると捉えている。 ・一方、保護者の評価は昨年度より約8%下回った。学年間で数値に差もみられ、特に1学年の評価が著しく低下している。例年に比べ、欠点を抱える生徒が多いためと考えるが、学年教科指導担当とも詳細に情報交換を行い、主体的に学習に取り組める体制を整えていきたい。
生徒指導	2	挨拶やマナーなどの基本的習慣の確立に関する指導が行われている	生徒、保護者とも高い肯定的な評価を得たが生徒は1年生が、保護者では学年が上がるると肯定的な評価が低くなっている。1年生の今後が心配される。
進路指導	3	進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている	<ul style="list-style-type: none"> ・肯定的評価はR3→R4→R5:生徒89%→89%→91%(上昇)、保護者82%→89%→81%(下降)。進路ガイダンス等の各種行事、模試や個別指導の充実が生徒の良い評価につながっていると思われる。特に3学年の生徒評価が94%の肯定評価で過去最高である。これに対し保護者の評価が下降した。3学年保護者は89%の肯定評価であるが1、2年保護者が下降している。保護者あて進路情報の発行が無かったため生徒への取り組みへの理解が不十分だった。 ・1、2学年の4月・8月のスタディーサポート実施とその分析会→キャリアセミナーと進路ガイダンス(10月～12月)→実力診断テスト(1月)という流れは、進路目標の明確化に役立ったと思われる。
教育相談	4	生徒にとって教員やカウンセラーが必要なときに相談に応じてくれる体制は出来ている	評価A・Bの合計が生徒は87.6%、保護者は74.1%であり、概ね出来ているという評価であった。精神面でのケアが必要な生徒が増加していることから、常に予約で埋まっている状況であるため、今後は、カウンセラーの来校日を増やすなど対策が必要と考えられる。
部活動	5	学校として部活動は活発に行われている	昨年と変わらず、高い肯定的評価(生徒:98.0%、保護者:88.9%、教職員:97%)を得た。今後も学習とのバランスを図りながら、生徒の健やかな成長における部活動の重要性を認識させながら更なる活性化に努めていきたい。
生徒会活動	6	学校として生徒会活動は活発に行われている。	概ね高い肯定的評価生徒・保護者から得ているが3年生の評価は他と比較して低い。生徒会活動は昨年と同様であった。
行事	7	自分(お子さん・生徒)にとって有意義な学校行事がある(学校行事)。	生徒・保護者のいずれも高い肯定的評価を得た。
特色ある学校作り	8	学校として地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒、保護者、教職員とも評価は70%台であった。地域連携事業をより多く設けることや、本校の取り組みを地域に周知することが大きな課題と考える。 ・今後は、学校運営協議会設置を行い、学校運営に地域の意向を取り入れ「柴田高校らしい特色ある学校づくり」の推進を図っていく必要があると考える。
防災	9	災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている	保護者の評価CDがR4年度24.9%から33.5%となった。今後は、年度初めや避難訓練時等に構内での避難方法や連絡方法を配信したり、安否確認訓練や引渡し訓練の実施等も検討していきたい。
開かれた学校	10	保護者に対して学校HPや各種通信などで、学校の情報は適切に伝えられている	・保護者肯定評価は昨年度より約4%向上し、9割に近い数値となった。生徒評価も、87.3%と高い数値を示している。更に、今年度は教職員の数値が大きく向上した(R4:77%⇒R5:88%)。Classi機能の積極的な活用とともに、柴高通信の発行や、学校HP更新頻度も高まってきていることが要因と考える。

施設設備	11	学校の施設・設備は整備されている	<p>・生徒、保護者からの回答は、7割以上がAまたはBと評価された一方で、教職員からの評価は低く、不満が多くなっている。校舎・体育館は築35年を経過し、施設設備の老朽化が見られるが、安全面を最優先に考慮した維持管理及び整備に努めるとともに、不備・不便な部分は順次改善を図りたい。安全点検での軽微な不備等については、その都度技師や業者により対応している。</p> <p>・高額な施設設備の更新・修繕については、引き続き施設整備計画に計上し、県に予算要求して行く。</p>
いじめ対策	12	【生徒】学校として日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる 【保護者】学校としていじめの問題に対する取り組み方針が保護者と共有されている	保護者の否定的な評価が増加した。毎月実施した学校生活アンケートについて保護者へ発信していなかった為と考える。今後は保護者の確認や保護者へのアンケートなども検討していきたい。また、生徒の20%弱が否定的な評価である。学校生活アンケートの内容や実施内容について要検討である。
総合満足度	13	学校生活は充実している	生徒・保護者のいずれも昨年度同様高い肯定的評価となった(生徒88.7%、保護者88.6%)。生徒の詳細をみると現2、3年生はいずれも92%を超えているが1年生が83%でやや低くなっている。満足度の低い生徒の要因を把握するために面談等を実施して個々の生徒理解に努めたい。
保健厚生	14	【生徒のみ】日常の清掃活動をはじめとして環境の整備は適切に行われている	評価A・Bの合計が81.6%であり、概ね評価は良好であるが、まだまだ環境の整備が必要な部分が多い。今後も、日常の清掃活動を効率的かつ効果的に実施してさらなる環境整備に努めたい。
	15	健康診断や保健講話・保健だよりにより生徒の健康管理は適切に行われている	評価A・Bの合計が、生徒は92.2%、保護者が96.3%、教職員が100%であり、生徒・保護者・教職員から高い評価を得ている。生徒の健康管理は重要な事項であるため、今後もしっかりと行うとともに、必要なことを情報発信できるように努めていきたい。
総務	14	(保護者のみ) PTA会員相互の連携が図られており各種行事・研修がスムーズに運営されている	令和5年度は保護者の肯定評価は8割を下回った。原因としてはコロナの感染対策期間に保護者との行事・研修が限られていたことや5類移行後も文化祭など完全に元に戻ってないことから目に見える活動ができなかったことでアピール力が弱かったと思われる。(10の項目では生徒・教員の肯定評価は8割以上で高い。)今後はClassiや学校HP等の利用により保護者への発信を具体的に検討していきたい。
教務図書	16	学習、読書及び情報収集の場として図書室は適切に運営されている	肯定的な回答が生徒89.9%(R4:88.8%)、保護者80.8%(R4:91.4%)の結果であった。生徒は昨年度より肯定的評価が高くなったが、保護者の肯定的評価が低下した。保護者向けの広報が不十分であったことが考えられるので、今後は保護者に向けても情報を発信したい。
進路指導	17	模試や課外講習などで進路達成に向けた実力養成は適切に行なわれている。	模試の受験者数や課外講習の受講人数が少数であるのが現状であり、この設問については肯定的評価の割合は高くないと思われた。が、生徒92%(R4:88%)保護者80%(R4:83%)と比較的高い満足度となった。各種就職指導(公務員講習含む)、面接指導、入試対策の個別指導や自主学習サポートなどに加えて、設問3の分析でも記述した各種ガイダンスやスタディーサポート等の実施とその分析等が功を奏していると考えらる。1、2年保護者については70%の肯定評価で低くなった理由は設問3の分析と同様の理由と考えられる。
教務図書	18	芸術鑑賞会など情操を養うための行事が適切に行われている	肯定的な回答が生徒95.4%(R4:92.2%)、保護者90.5%(R4:91.4%)の結果であった。生徒・保護者ともに肯定的評価が90%を超えている。教職員は100%(R4:95%)と、ともに高い評価となった。コロナウイルス感染症が5類感染症移行したことにより、全学年で実施できたことによる。また次年度は、新型コロナウイルスのため中止としていた「演劇」を行う。今後は生徒の芸術性を高め、情操教育が図れる内容を吟味し推進していきたいと考える。
教育課程	19	学校としてスクールポリシーに基づいた教育課程が編成・実施されている	・新学習指導要領カリキュラム2年目で、2学年は新科目に取り組む教育課程となっている。全体的に肯定的評価がほとんどで、特に教職員は94%と最も高かった。生徒・保護者にスクールポリシーや学校の教育目標をより広く深く浸透させ、適切な進路実現に繋げられるよう、よりカリキュラムマネジメント推進を図っていきたい。